

現代文化学部で学ぶ主な教養科目

観光もファッションも心理も。求められるアイデアは、分野外の知識から。

社会で実際に起きていることを理解し、今必要なモノ・コトを考えられるよう学部共通基礎教養科目などを設けています。就職活動も視野に入れた独自の科目として、「日本語文章作成演習」を必修科目に設定。少人数制で、社会人として生きるための基礎になる書く力、読む力を養います。また、キャリア形成教育科目も10科目（選択科目含む）と充実。社会に出てから必要になる知識や力を、自分で使えるようになるまで指導しています。

()：卒業に必要な履修単位数

計124単位

学部共通基礎教養科目 国際文化・観光学科 (16) 国際ファッション文化学科 (14) 応用健康心理学科 (22)	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語文章作成演習Ⅰ・Ⅱ ・経済学 ・心理学 ・社会学 ・国際理解論 ・スポーツ演習 ・生理学 ・世界遺産 ・環境論 ・情報とコンピュータ など 	キャリア形成教育科目 (8)	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリアデザイン(導入編) -フレッシュマンキャンプ- ・キャリアデザイン(展開編) -企業を知る- ・キャリアデザイン(実践編) -インターンシップ- ・企業研究A-社会の仕組みを知る- ・企業研究B-企業の財務・会計- ・企業研究C-企業の人事- ・自己分析演習 ・キャリア基礎演習 など
外国語科目 国際ファッション文化学科 (10) 応用健康心理学科 (12)	▶各学科ページを参照 国際文化・観光学科は専門教育科目に含まれます。		
コラボレーション科目 (2)	教員は専門を問わず、学生は学部・学科・学年を越えて、集中授業の方式で開講されるユニークな科目です。		
専門教育科目 国際文化・観光学科 (98) 国際ファッション文化学科 (90) 応用健康心理学科 (80)	▶各学科・コースページを参照		

単位は、その科目が実施する試験などに合格することで取得ができます。現代文化学部卒業には上記の単位を取得する必要があります。

※カリキュラムは変更される場合があります。記載のカリキュラムは概要となりますので詳細は入学後に配布される「履修要項」などを参照してください。

応用健康心理学科で学ぶ主な専門科目

応用健康心理学科では、専門教育科目として、下記の科目を学びます。

●…必修科目 ○…選択科目
★…留学生対象

1年次の主な専門科目

- ファッション心理学概論
- ファッション心理学特講
- カウンセリング心理学概論
- 健康とストレス
- 健康心理学概論
- 健康スポーツ心理学概論
- 健康教育概論
- 心理学概論
- 人格心理学
- 社会心理学
- 生涯発達心理学
- 心理学研究法
- 心理学基礎演習
- パソコン演習
- 現代ファッション概論

[外国語科目]

- 英語 A
- 英語 B
- フランス語 I A
- フランス語 I B
- 中国語 I A
- 中国語 I B
- 日本語 A★
- 日本語 B★ など

2年次の主な専門科目

- 臨床心理学
- カウンセリングスキル
- 心理学基礎実験
- 健康心理学実習 I
- 心理療法各論
- 認知心理学
- 生理心理学
- 教育心理学
- 心理学統計
- 健康とファッション
- アロマテラピーと健康
- 健康と栄養
- 健康スポーツ演習
- 公衆衛生学
- 色彩造形心理学
- カラーコーディネート論

[外国語科目]

- 英語 C
- 英語 D
- 日本語 C★
- 日本語 D★ など

3年次の主な専門科目

- 心理学演習
- 健康心理学実習 II
- 健康心理アセスメント
- ファッションセラピー
- ファッション心理アセスメント
- 化粧品心理学
- リハビリ・カバーメイク
- 健康心理カウンセリング論
- コミュニティ健康心理学 など



健康心理学実習 II

生まれ持った肌や瞳の色と最も調和する色を探す「パーソナルカラー診断」を行い、その人らしさを引き立てる色を提案します。

4年次の主な専門科目

- 卒業研究
- ボランティア実習
- 産業カウンセリング
- 心身医学 など



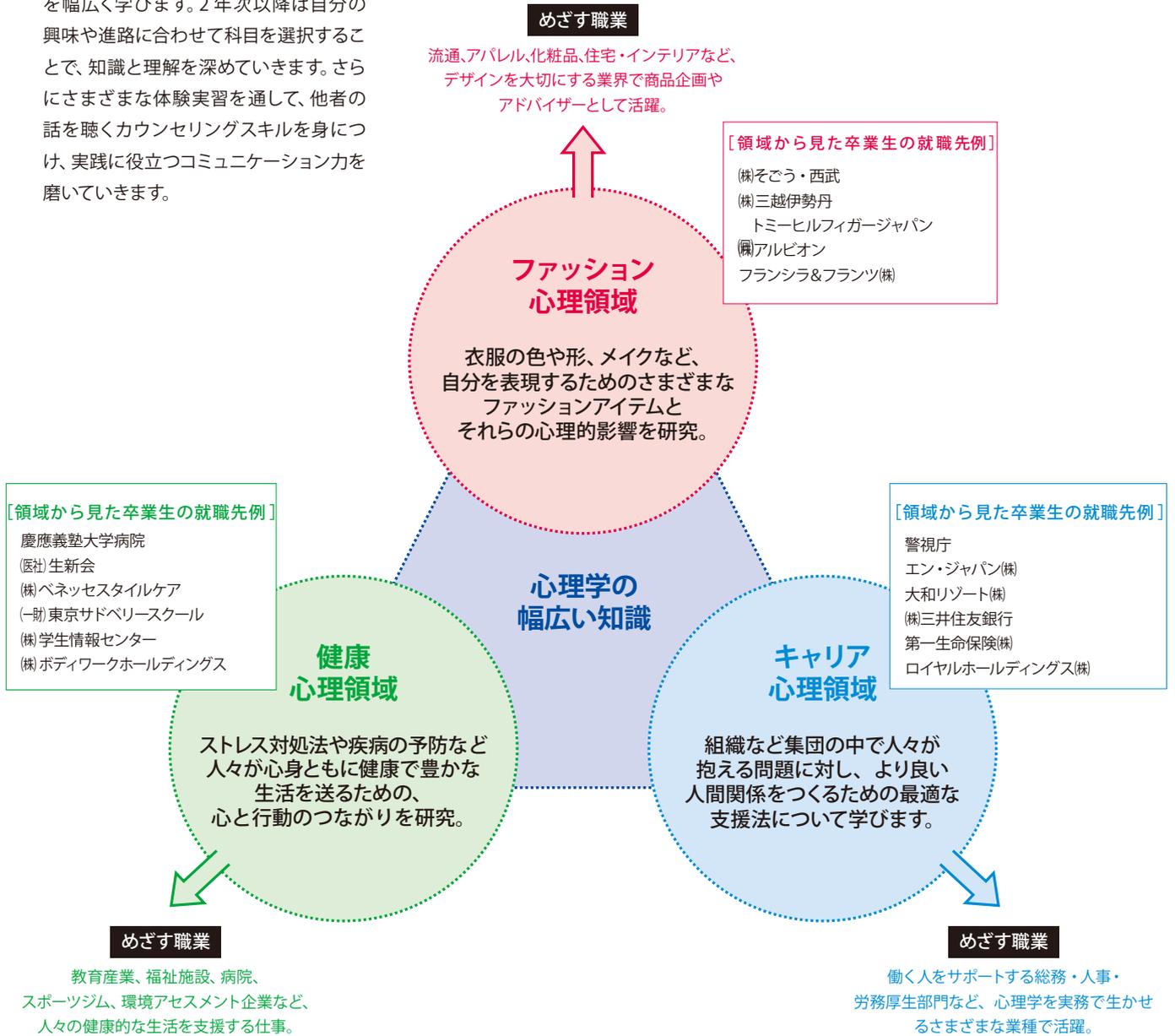
ボランティア実習

薬物乱用防止のための「セーフティ教室」では、誘いを断るロールプレイなどを小中学校で実施しています。

Features of Learning 学びの特長

応用健康心理学科の学びの領域

1年次は心理学や3つの領域の基礎知識を幅広く学びます。2年次以降は自分の興味や進路に合わせて科目を選択することで、知識と理解を深めていきます。さらにさまざまな体験実習を通して、他者の話を聴くカウンセリングスキルを身につけ、実践に役立つコミュニケーション力を磨いていきます。



応用健康心理学科の卒業論文テーマ例

社会が抱える問題や身近な疑問をテーマに、ファッション心理、健康心理、キャリア心理の観点から調査・分析を行い、卒業論文にまとめています。「ストレス」「ファッション」「化粧品」「色」「香り」「スポーツ」「ネット依存」と「心理」や「心の健康」との関連を調べる研究など、テーマは多様です。

◆ファッション心理領域

「女子大学生の心理的健康に与える化粧の効果」
化粧を行うことが対人コミュニケーションの促進や気分の改善、リラクゼーションなどにどのような影響や効果があるのかを調査し、考察した研究。

◆健康心理領域

「ストレス解消法とその心理的效果に関する研究」
大学生を対象にストレスフルな状況下におけるストレス解消法の調査を行い、ストレス内容と選択される解消行動およびその方法について考察した研究。

◆キャリア心理領域

「女子大学生のライフコース選択に関する研究」
職業キャリアへの意識とライフコースの選択について調査を行い、仕事を継続していくための要素を検討し、女性が理想とする生き方を考察した研究。